

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券
信託期間	2030年7月19日まで（2010年9月30日設定）
運用方針	日本国債20年型マザーファンド受益証券への投資を通じて、わが国の国債を実質的な主要投資対象とし、主として安定した利子収益の確保をめざします。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。運用にあたっては、残存期間20年程度までの国債を各年限ごとに分散して組み入れます。運用の効率化を図るため、先物取引等を利用し債券の実質投資比率が100%を超える場合があります。
主要運用対象	ベ ビ 一 フ ァ ン ド 日本国債20年型マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、わが国の国債に直接投資することがあります。
	マ ザ 一 フ ァ ン ド わが国の国債を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベ ビ 一 フ ァ ン ド 外貨建資産への投資は行いません。
	マ ザ 一 フ ァ ン ド 外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。また、基準価額水準、運用状況等によっては安定した分配とならないことがあります。

運用報告書（全体版）

三菱UFJ 日本国債ファンド
(毎月決算型)

第172期（決算日：2025年2月20日）

第173期（決算日：2025年3月21日）

第174期（決算日：2025年4月21日）

第175期（決算日：2025年5月20日）

第176期（決算日：2025年6月20日）

第177期（決算日：2025年7月22日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、お手持ちの「三菱UFJ 日本国債ファンド（毎月決算型）」は、去る7月22日に第177期の決算を行いましたので、法令に基づいて第172期～第177期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号

ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル

0120-151034

（受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様のお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

ファンスマネージャーのコメント

当期間の運用で主眼をおいたポイントをご説明させていただきます。

投資環境

当期間の国内金利は、日銀による金融政策の修正などを背景に、上昇しました。

運用のポイント

イールドカーブ分析に基づく保有限年限の調整や金利見通しに基づいたデュレーション（平均回収期間や金利感応度）の調整を行いました。

イールドカーブ分析に基づく保有限年限の調整

国内債券市場では、イールドカーブについて年限毎に割高・割安が生じていると見ております。9年近辺および14年近辺については、他の年限に比べ割安と判断していることから、比較的多めに保有しております。一方、7年近辺および17年近辺については、他の年限に比べ割高と判断していることから、比較的少なめに保有しております。

金利見通しに基づいたデュレーションの調整

当期間については、日銀の金融政策修正観測により金利上昇しやすい展開を見込み、比較的短めから中立を中心にデュレーションを調整しました。

運用環境の見通しおよび今後の運用方針

国内金利は、日銀金融政策や米国金利動向などを睨みながら、当面は神経質な展開が続くものと見ております。

今後もイールドカーブ分析や銘柄間の割高・割安分析、金利見通しなどに基づいた運用を行っていく所存です。



運用担当者
太田 裕

本資料の表記にあたって

- 原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- 一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額				(参考指數) NOMURA-BPI/Ladder 20年	債組入比率	債券先物比率	純資産額
	(分配落)	税分	込配	み期騰落率	中騰落率			
148期(2023年2月20日)	円 9,038	円 10		△0.5	173.69	△0.6	94.4	% 8,966
149期(2023年3月20日)	9,283	10		2.8	178.68	2.9	93.1	— 9,041
150期(2023年4月20日)	9,177	10		△1.0	176.85	△1.0	95.6	△5.0 8,869
151期(2023年5月22日)	9,279	10		1.2	179.07	1.3	95.1	△5.1 8,839
152期(2023年6月20日)	9,270	10		0.0	179.19	0.1	93.7	— 8,784
153期(2023年7月20日)	9,189	10		△0.8	177.77	△0.8	92.9	— 9,094
154期(2023年8月21日)	9,032	10		△1.6	174.94	△1.6	97.8	— 8,447
155期(2023年9月20日)	8,985	10		△0.4	174.17	△0.4	98.6	— 8,282
156期(2023年10月20日)	8,881	10		△1.0	172.34	△1.1	94.1	— 7,981
157期(2023年11月20日)	8,969	10		1.1	174.34	1.2	90.8	3.7 7,834
158期(2023年12月20日)	9,104	10		1.6	177.20	1.6	96.8	— 7,733
159期(2024年1月22日)	9,020	10		△0.8	175.84	△0.8	96.0	— 7,389
160期(2024年2月20日)	8,962	10		△0.5	174.98	△0.5	94.7	— 7,146
161期(2024年3月21日)	8,946	10		△0.1	174.84	△0.1	93.7	— 6,968
162期(2024年4月22日)	8,840	10		△1.1	173.00	△1.1	93.6	— 6,752
163期(2024年5月20日)	8,758	10		△0.8	171.59	△0.8	97.8	— 6,568
164期(2024年6月20日)	8,760	10		0.1	171.90	0.2	91.0	— 6,380
165期(2024年7月22日)	8,694	10		△0.6	170.79	△0.6	91.3	— 6,217
166期(2024年8月20日)	8,775	5		1.0	172.79	1.2	96.2	— 6,183
167期(2024年9月20日)	8,794	5		0.3	173.28	0.3	92.9	— 5,885
168期(2024年10月21日)	8,753	5		△0.4	172.61	△0.4	93.2	— 5,800
169期(2024年11月20日)	8,672	5		△0.9	171.10	△0.9	90.9	— 5,948
170期(2024年12月20日)	8,692	5		0.3	171.67	0.3	96.2	— 5,520
171期(2025年1月20日)	8,617	5		△0.8	170.27	△0.8	98.8	— 5,289
172期(2025年2月20日)	8,488	5		△1.4	167.58	△1.6	91.0	— 5,104
173期(2025年3月21日)	8,388	5		△1.1	165.95	△1.0	97.5	— 4,906
174期(2025年4月21日)	8,447	5		0.8	167.71	1.1	97.5	— 4,872
175期(2025年5月20日)	8,311	5		△1.6	165.08	△1.6	92.8	— 4,757
176期(2025年6月20日)	8,393	5		1.0	167.01	1.2	96.9	— 4,769
177期(2025年7月22日)	8,333	5		△0.7	165.84	△0.7	91.3	— 4,697

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指數を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) NOMURA-BPI/Ladder 20年とは、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が発表している期間20年でラダー型運用を行った場合のパフォーマンスインデックスです。当該指數の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指數の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指數を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率-売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	(参 考 指 数)		債券組入比率	債券先物比率
			騰 落 率	NOMURA-BPI/Ladder 20年		
第172期	(期 首) 2025年1月20日	円 8,617	% —	170.27	% —	% 98.8
	1月末	8,586	△0.4	169.67	△0.4	98.4
	(期 末) 2025年2月20日	8,493	△1.4	167.58	△1.6	91.0
第173期	(期 首) 2025年2月20日	8,488	—	167.58	—	91.0
	2月末	8,515	0.3	168.31	0.4	91.1
	(期 末) 2025年3月21日	8,393	△1.1	165.95	△1.0	97.5
第174期	(期 首) 2025年3月21日	8,388	—	165.95	—	97.5
	3月末	8,412	0.3	166.50	0.3	97.7
	(期 末) 2025年4月21日	8,452	0.8	167.71	1.1	97.5
第175期	(期 首) 2025年4月21日	8,447	—	167.71	—	97.5
	4月末	8,465	0.2	168.12	0.2	93.1
	(期 末) 2025年5月20日	8,316	△1.6	165.08	△1.6	92.8
第176期	(期 首) 2025年5月20日	8,311	—	165.08	—	92.8
	5月末	8,345	0.4	165.86	0.5	90.6
	(期 末) 2025年6月20日	8,398	1.0	167.01	1.2	96.9
第177期	(期 首) 2025年6月20日	8,393	—	167.01	—	96.9
	6月末	8,384	△0.1	166.87	△0.1	96.8
	(期 末) 2025年7月22日	8,338	△0.7	165.84	△0.7	91.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第172期～第177期：2025年1月21日～2025年7月22日

〉当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移

(円)

(百万円)

8,800

40,000

8,600

30,000

8,400

20,000

8,200

10,000

8,000

0

2025/1/20

2025/3/19

2025/5/20

2025/7/15

— 分配金再投資基準価額：左目盛

— 基準価額：左目盛

■ 純資産総額：右目盛

第172期首 8,617円

第177期末 8,333円

既払分配金 30円

騰 落 率 -2.9%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ2.9%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

基準価額の主な変動要因

下落要因

国内金利が上昇したことなどが基準価額の下落要因となりました。

第172期～第177期：2025年1月21日～2025年7月22日

》投資環境について

▶ 債券市況

国内金利は上昇しました。

当期間の国内金利は、日銀による金融政策の修正などを背景に、上昇しました。

》当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 三菱UFJ 日本国債ファンド（毎月決算型）

当ファンドは日本国債20年型マザーファンドを通じて、わが国の国債を実質的な主要投資対象としています。マザーファンドへの投資比率は、運用の基本方針にしたがい概ね100%を維持しました。

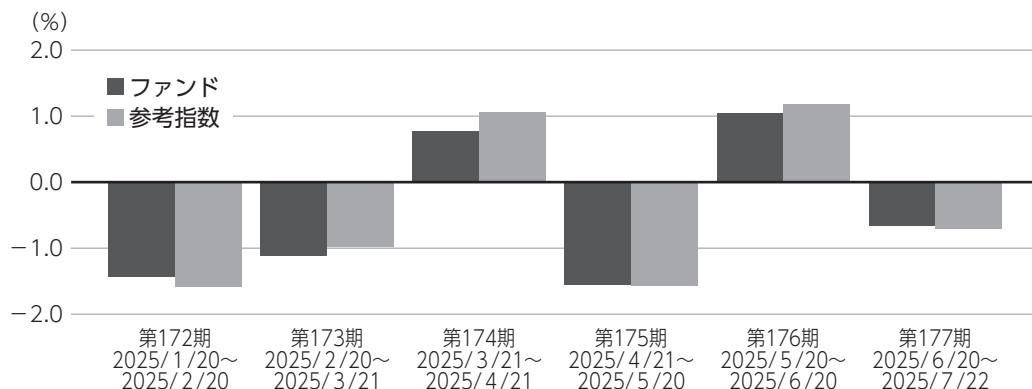
▶ 日本国債20年型マザーファンド

残存期間20年程度までの国債を各年限に分散して組み入れました。9年近辺および14年近辺については、他の年限に比べ割安と判断していることから、比較的多めに保有しております。一方、7年近辺および17年近辺については、他の年限に比べ割高と判断していることから、比較的少なめに保有しております。ファンド全体のデュレーション（平均回収期間や金利感応度）は、7.1～9.1程度で調整しました。

第172期～第177期：2025/1/21～2025/7/22

〉当該投資信託のベンチマークとの差異について

基準価額と参考指標の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指標の騰落率との対比です。

参考指標はNOMURA-BPI/Ladder 20年です。

》分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきました。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第172期 2025年1月21日～ 2025年2月20日	第173期 2025年2月21日～ 2025年3月21日	第174期 2025年3月22日～ 2025年4月21日	第175期 2025年4月22日～ 2025年5月20日	第176期 2025年5月21日～ 2025年6月20日	第177期 2025年6月21日～ 2025年7月22日
当期分配金 (対基準価額比率)	5 (0.059%)	5 (0.060%)	5 (0.059%)	5 (0.060%)	5 (0.060%)	5 (0.060%)
当期の収益	2	2	5	2	5	2
当期の収益以外	2	2	—	2	—	2
翌期繰越分配対象額	568	566	566	563	564	561

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(作成対象期間末での見解です。)

▶三菱UFJ 日本国債ファンド（毎月決算型）

日本国債20年型マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保ち、マザーファンドのポートフォリオの構成に近づけた状態を維持する方針です。

▶日本国債20年型マザーファンド

安定した利子収入確保などをめざし、債券組入比率は引き続き高位に維持する方針です。

ファンド全体のデュレーション（平均回収期間や金利感応度）は、当面7.2程度とし環境変化に合わせて調整する方針です。

2025年1月21日～2025年7月22日

〉1万口当たりの費用明細

項目	第172期～第177期		項目の概要
	金額(円)	比率(%)	
(a)信託報酬	20	0.237	(a)信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率×（作成期中の日数÷年間日数）
(投信会社)	(9)	(0.110)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販売会社)	(9)	(0.110)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.017)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)売買委託手数料	0	0.000	(b)売買委託手数料＝作成期中の売買委託手数料÷作成期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(先物・オプション)	(0)	(0.000)	
(c)その他費用	0	0.002	(c)その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	20	0.239	

作成期中の平均基準価額は、8,430円です。

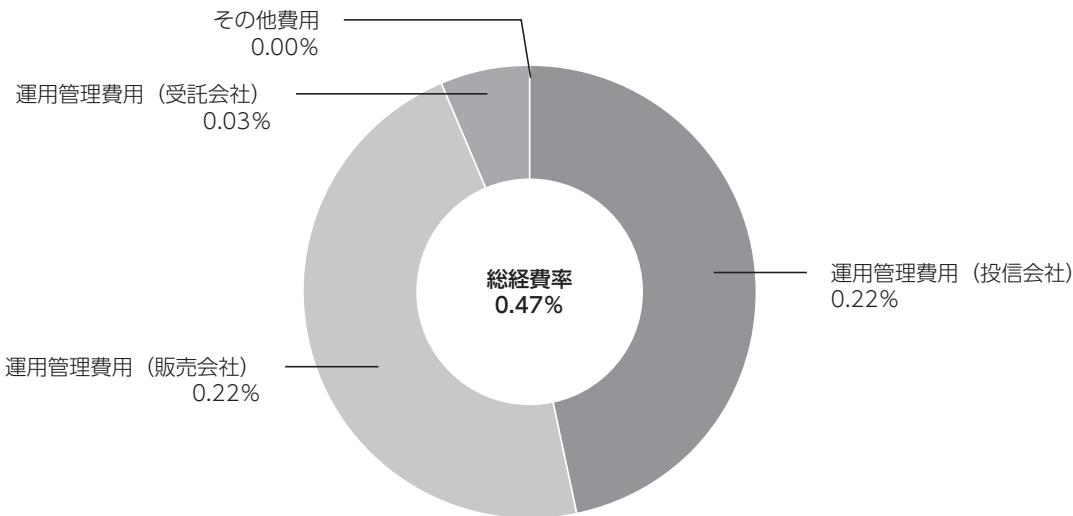
- (注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

- (注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.47%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2025年1月21日～2025年7月22日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第172期～第177期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
日本国債20年型マザーファンド	千口 47,742	千円 53,411	千口 463,821	千円 520,826

○利害関係人との取引状況等

(2025年1月21日～2025年7月22日)

利害関係人との取引状況

<三菱UFJ 日本国債ファンド（毎月決算型）>

該当事項はございません。

<日本国債20年型マザーファンド>

区 分	第172期～第177期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 5,587	百万円 982	% 17.6	百万円 6,367	百万円 1,971	% 31.0

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドの親投資信託所有口数の割合。

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ モルガン・スタンレー証券です。

○組入資産の明細

(2025年7月22日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第171期末		第177期末	
	口 数	口 数	評 価 額	千円
日本国債20年型マザーファンド	千口 4,636,805	千口 4,220,726	千円 4,688,383	

○投資信託財産の構成

(2025年7月22日現在)

項目	第177期末	
	評価額	比率
日本国債20年型マザーファンド	千円 4,688,383	% 99.5
コール・ローン等、その他	23,788	0.5
投資信託財産総額	4,712,171	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項目	第172期末	第173期末	第174期末	第175期末	第176期末	第177期末
	2025年2月20日現在	2025年3月21日現在	2025年4月21日現在	2025年5月20日現在	2025年6月20日現在	2025年7月22日現在
(A) 資産	円 5,118,896,023	円 4,924,182,745	円 4,878,603,994	円 4,771,944,688	円 4,780,378,153	円 4,712,171,903
コール・ローン等	16,549,928	14,203,127	17,668,939	13,865,543	14,369,172	13,556,685
日本国債20年型マザーファンド(評価額)	5,095,324,487	4,902,367,889	4,860,481,372	4,746,136,924	4,758,600,949	4,688,383,161
未収入金	7,021,398	7,611,549	453,459	11,942,046	7,407,850	10,231,885
未収利息	210	180	224	175	182	172
(B) 負債	円 13,940,718	円 17,973,891	円 6,118,277	円 14,506,749	円 10,961,578	円 14,578,874
未払収益分配金	3,007,332	2,924,391	2,884,090	2,861,995	2,841,299	2,818,758
未払解約金	8,827,379	13,155,202	1,252,578	9,809,144	6,191,918	9,780,983
未払信託報酬	2,091,428	1,881,185	1,967,891	1,822,900	1,915,011	1,965,431
その他未払費用	14,579	13,113	13,718	12,710	13,350	13,702
(C) 純資産総額(A-B)	円 5,104,955,305	円 4,906,208,854	円 4,872,485,717	円 4,757,437,939	円 4,769,416,575	円 4,697,593,029
元本	6,014,665,818	5,848,782,648	5,768,180,308	5,723,991,373	5,682,599,763	5,637,516,220
次期繰越損益金	△ 909,710,513	△ 942,573,794	△ 895,694,591	△ 966,553,434	△ 913,183,188	△ 939,923,191
(D) 受益権総口数	6,014,665,818口	5,848,782,648口	5,768,180,308口	5,723,991,373口	5,682,599,763口	5,637,516,220口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,488円	8,388円	8,447円	8,311円	8,393円	8,333円

○損益の状況

項目	第172期	第173期	第174期	第175期	第176期	第177期
	2025年1月21日～ 2025年2月20日	2025年2月21日～ 2025年3月21日	2025年3月22日～ 2025年4月21日	2025年4月22日～ 2025年5月20日	2025年5月21日～ 2025年6月20日	2025年6月21日～ 2025年7月22日
(A) 配当等収益	5,678	6,157	7,135	5,744	5,488	6,127
受取利息	5,678	6,157	7,135	5,744	5,488	6,127
(B) 有価証券売買損益	△ 72,394,752	△ 53,074,149	38,528,399	△ 73,013,475	51,082,621	△ 29,148,076
売買益	582,935	920,441	39,609,239	194,301	51,341,784	277,577
売買損	△ 72,977,687	△ 53,994,590	△ 1,080,840	△ 73,207,776	△ 259,163	△ 29,425,653
(C) 信託報酬等	△ 2,106,007	△ 1,894,298	△ 1,981,609	△ 1,835,610	△ 1,928,361	△ 1,979,133
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 74,495,081	△ 54,962,290	36,553,925	△ 74,843,341	49,159,748	△ 31,121,082
(E) 前期繰越損益金	△ 540,729,169	△ 596,975,884	△ 637,772,677	△ 596,969,436	△ 665,593,598	△ 608,360,243
(F) 追加信託差損益金	△ 291,478,931	△ 287,711,229	△ 291,591,749	△ 291,878,662	△ 293,908,039	△ 297,623,108
(配当等相当額)	(343,841,127)	(332,786,081)	(326,599,669)	(324,119,276)	(320,326,934)	(317,797,138)
(売買損益相当額)	(△635,320,058)	(△620,497,310)	(△618,191,418)	(△615,997,938)	(△614,234,973)	(△615,420,246)
(G) 計(D+E+F)	△ 906,703,181	△ 939,649,403	△ 892,810,501	△ 963,691,439	△ 910,341,889	△ 937,104,433
(H) 収益分配金	△ 3,007,332	△ 2,924,391	△ 2,884,090	△ 2,861,995	△ 2,841,299	△ 2,818,758
次期繰越損益金(G+H)	△ 909,710,513	△ 942,573,794	△ 895,694,591	△ 966,553,434	△ 913,183,188	△ 939,923,191
追加信託差損益金	△ 293,102,586	△ 289,342,132	△ 291,591,749	△ 293,344,856	△ 293,908,039	△ 298,696,779
(配当等相当額)	(342,224,467)	(331,163,465)	(326,620,405)	(322,660,143)	(320,334,160)	(316,740,153)
(売買損益相当額)	(△635,327,053)	(△620,505,597)	(△618,212,154)	(△616,004,999)	(△614,242,199)	(△615,436,932)
分配準備積立金	—	—	250,442	—	439,478	—
繰越損益金	△ 616,607,927	△ 653,231,662	△ 604,353,284	△ 673,208,578	△ 619,714,627	△ 641,226,412

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

①作成期首(前作成期末)元本額 6,138,274,637円

作成期中追加設定元本額 210,805,498円

作成期中一部解約元本額 711,563,915円

また、1口当たり純資産額は、作成期末0.8333円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は939,923,191円です。

③分配金の計算過程

項目	2025年1月21日～ 2025年2月20日	2025年2月21日～ 2025年3月21日	2025年3月22日～ 2025年4月21日	2025年4月22日～ 2025年5月20日	2025年5月21日～ 2025年6月20日	2025年6月21日～ 2025年7月22日
費用控除後の配当等収益額	1,383,677円	1,293,488円	3,134,532円	1,148,316円	3,280,777円	1,313,356円
費用控除後・繰越欠損金償填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	343,848,122円	332,794,368円	326,620,405円	324,126,337円	320,334,160円	317,813,824円
分配準備積立金額	—円	—円	—円	247,485円	—円	431,731円
当ファンドの分配対象収益額	345,231,799円	334,087,856円	329,754,937円	325,522,138円	323,614,937円	319,558,911円
1万口当たり収益分配対象額	573円	571円	571円	568円	569円	566円
1万口当たり分配金額	5円	5円	5円	5円	5円	5円
収益分配金額	3,007,332円	2,924,391円	2,884,090円	2,861,995円	2,841,299円	2,818,758円

〇分配金のお知らせ

	第172期	第173期	第174期	第175期	第176期	第177期
1万口当たり分配金（税込み）	5円	5円	5円	5円	5円	5円

- 分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- 分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

*三菱UFJアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

[お知らせ]

①投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。

（2025年4月1日）

②2025年4月に使用開始の交付目論見書、請求目論見書記載の「代表的な資産クラスの騰落率の平均値」について誤りがございました。

誤記載の内容および訂正内容については、下記の通りです。

記

＜誤記載の箇所＞

交付目論見書、請求目論見書の「ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較」のグラフのうち、「新興国債」の騰落率の「平均値」（2020年2月末～2025年1月末）

＜訂正内容＞

正：6.7

誤：6.6

日本国債20年型マザーファンド

《第15期》決算日2025年7月22日

[計算期間：2024年7月23日～2025年7月22日]

「日本国債20年型マザーファンド」は、7月22日に第15期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第15期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の国債を主要投資対象とし、主として安定した利子収益の確保をめざします。運用にあたっては、残存期間20年程度までの国債を各年限ごとに分散して組み入れます。運用の効率化を図るため、先物取引等を利用して債券の投資比率が100%を超える場合があります。
主要運用対象	わが国の国債を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	(参考指數) NOMURA-BPI/Ladder 20年		債券組入比率	債券先物比率	純資産額
		期騰落率	中率			
11期(2021年7月20日)	円 12,307	% 0.9	184.18	% 0.7	% 91.5	% 12,754
12期(2022年7月20日)	11,971	△2.7	178.98	△2.8	93.5	2.7 11,085
13期(2023年7月20日)	11,919	△0.4	177.77	△0.7	93.1	— 9,071
14期(2024年7月22日)	11,462	△3.8	170.79	△3.9	91.2	— 6,224
15期(2025年7月22日)	11,108	△3.1	165.84	△2.9	91.4	— 4,688

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指數を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) NOMURA-BPI/Ladder 20年とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している期間20年でラダー型運用を行った場合のパフォーマンスインデックスです。当該指標の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指標の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指標を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) NOMURA-BPI/Ladder 20年	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落	率	騰 落	率	騰 落
(期 首) 2024年7月22日	円 11,462	% —	170.79	% —	% 91.2
7月末	11,460	△0.0	170.74	△0.0	90.6
8月末	11,590	1.1	172.95	1.3	96.8
9月末	11,638	1.5	173.57	1.6	92.8
10月末	11,587	1.1	172.83	1.2	93.4
11月末	11,501	0.3	171.52	0.4	90.7
12月末	11,473	0.1	171.14	0.2	96.0
2025年1月末	11,380	△0.7	169.67	△0.7	98.7
2月末	11,297	△1.4	168.31	△1.5	91.3
3月末	11,171	△2.5	166.50	△2.5	97.9
4月末	11,252	△1.8	168.12	△1.6	93.3
5月末	11,103	△3.1	165.86	△2.9	90.8
6月末	11,166	△2.6	166.87	△2.3	97.0
(期 末) 2025年7月22日	11,108	△3.1	165.84	△2.9	91.4

(注) 謄落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

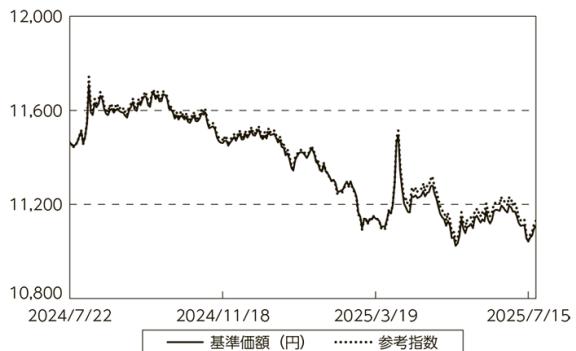
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ3.1%の下落となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指標は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指
数化しています。

●基準価額の主な変動要因**(下落要因)**

国内金利が上昇したことなどが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について**◎債券市況**

国内金利は上昇しました。

・当期間の国内金利は、日銀による金融政策の修正などを背景に、上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

・残存期間20年程度までの国債を各年限に分散して組み入れました。9年近辺および14年近辺については、他の年限に比べ割安と判断していることから、比較的多めに保有しております。一方、7年近辺および17年近辺については、他の年限に比べ割高と判断していることから、比較的少なめに保有しております。ファンド全体のデュレーション（平均回収期間や金利感応度）は、7.1～9.3年程度で調整しました。

○今後の運用方針

・安定した利子収入確保などをめざし、債券組入比率は引き続き高位に維持する方針です。
・ファンド全体のデュレーション（平均回収期間や金利感応度）は、当面7.2年程度とし環境変化に合わせて調整する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2024年7月23日～2025年7月22日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)	(a)売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
合計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、11,369円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2024年7月23日～2025年7月22日)

公社債

国内	国債証券	買付額	売付額
		千円 15,212,569	千円 16,091,134 (320,000)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

先物取引の種類別取引状況

種類別	買建		売建	
	新規買付額	決済額	新規売付額	決済額
国内 債券先物取引	百万円 285	百万円 285	百万円 140	百万円 141

○利害関係人との取引状況等

(2024年7月23日～2025年7月22日)

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	15,212	3,320	21.8	16,091	3,383	21.0

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUF G証券です。

○組入資産の明細

(2025年7月22日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区分	当期末						5年以上	2年以上	2年未満		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率						
					5年以上	2年以上	2年未満				
国債証券	千円 4,610,000	千円 4,286,830	% 91.4	% —	% 57.0	% 14.0	% 20.4				
合計	4,610,000	4,286,830	91.4	—	57.0	14.0	20.4				

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	利率	当期末			償還年月日
		額面金額	評価額	千円	
国債証券	%			千円	
第453回利付国債(2年)	0.005	420,000	419,664	419,664	2025/10/1
第457回利付国債(2年)	0.1	50,000	49,902	49,902	2026/2/1
第466回利付国債(2年)	0.5	480,000	479,179	479,179	2026/11/1
第150回利付国債(5年)	0.005	10,000	9,910	9,910	2026/12/20
第161回利付国債(5年)	0.3	60,000	59,121	59,121	2028/6/20
第166回利付国債(5年)	0.4	90,000	88,613	88,613	2028/12/20
第170回利付国債(5年)	0.6	310,000	306,314	306,314	2029/6/20
第174回利付国債(5年)	0.7	120,000	118,821	118,821	2029/9/20
第178回利付国債(5年)	1.0	30,000	30,006	30,006	2030/3/20
第348回利付国債(10年)	0.1	10,000	9,860	9,860	2027/9/20
第353回利付国債(10年)	0.1	10,000	9,744	9,744	2028/12/20
第362回利付国債(10年)	0.1	10,000	9,472	9,472	2031/3/20
第366回利付国債(10年)	0.2	10,000	9,392	9,392	2032/3/20
第367回利付国債(10年)	0.2	40,000	37,423	37,423	2032/6/20
第369回利付国債(10年)	0.5	190,000	180,272	180,272	2032/12/20
第372回利付国債(10年)	0.8	570,000	547,752	547,752	2033/9/20
第375回利付国債(10年)	1.1	110,000	107,342	107,342	2034/6/20
第1回利付国債(30年)	2.8	30,000	32,273	32,273	2029/9/20
第121回利付国債(20年)	1.9	10,000	10,436	10,436	2030/9/20
第141回利付国債(20年)	1.7	10,000	10,336	10,336	2032/12/20
第146回利付国債(20年)	1.7	10,000	10,306	10,306	2033/9/20
第148回利付国債(20年)	1.5	20,000	20,232	20,232	2034/3/20
第151回利付国債(20年)	1.2	20,000	19,561	19,561	2034/12/20
第153回利付国債(20年)	1.3	10,000	9,814	9,814	2035/6/20
第155回利付国債(20年)	1.0	20,000	18,920	18,920	2035/12/20
第158回利付国債(20年)	0.5	140,000	123,600	123,600	2036/9/20
第160回利付国債(20年)	0.7	150,000	133,906	133,906	2037/3/20
第161回利付国債(20年)	0.6	80,000	70,137	70,137	2037/6/20
第162回利付国債(20年)	0.6	10,000	8,711	8,711	2037/9/20
第163回利付国債(20年)	0.6	90,000	77,897	77,897	2037/12/20
第166回利付国債(20年)	0.7	330,000	283,674	283,674	2038/9/20
第167回利付国債(20年)	0.5	140,000	116,256	116,256	2038/12/20
第172回利付国債(20年)	0.4	40,000	31,513	31,513	2040/3/20
第173回利付国債(20年)	0.4	100,000	78,167	78,167	2040/6/20
第175回利付国債(20年)	0.5	220,000	172,101	172,101	2040/12/20
第176回利付国債(20年)	0.5	60,000	46,575	46,575	2041/3/20
第181回利付国債(20年)	0.9	30,000	24,123	24,123	2042/6/20
第183回利付国債(20年)	1.4	240,000	207,722	207,722	2042/12/20
第186回利付国債(20年)	1.5	80,000	69,400	69,400	2043/9/20
第188回利付国債(20年)	1.6	30,000	26,214	26,214	2044/3/20
第189回利付国債(20年)	1.9	60,000	54,884	54,884	2044/6/20
第192回利付国債(20年)	2.4	160,000	157,268	157,268	2045/3/20
合計		4,610,000	4,286,830		

○投資信託財産の構成

(2025年7月22日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
公社債	千円 4,286,830	% 91.2
コール・ローン等、その他	411,675	8.8
投資信託財産総額	4,698,505	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年7月22日現在)

項目	当期末
(A) 資産	円 4,698,505,521
コール・ローン等	404,038,788
公社債(評価額)	4,286,830,800
未収利息	6,025,469
前払費用	1,610,464
(B) 負債	10,231,885
未払解約金	10,231,885
(C) 純資産総額(A-B)	4,688,273,636
元本	4,220,726,649
次期繰越損益金	467,546,987
(D) 受益権総口数	4,220,726,649口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,108円

<注記事項>

- ①期首元本額 5,430,022,187円
 期中追加設定元本額 576,914,498円
 期中一部解約元本額 1,786,210,036円
 また、1口当たり純資産額は、期末1,1108円です。

②期末における元本の内訳（当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額）

三菱UFJ 日本国債ファンド（毎月決算型） 4,220,726,649円

○損益の状況 (2024年7月23日～2025年7月22日)

項目	当期
(A) 配当等収益	円 39,588,076
受取利息	39,588,076
(B) 有価証券売買損益	△190,892,100
売買益	27,858,900
売買損	△218,751,000
(C) 先物取引等取引損益	△ 765,610
取引益	358,130
取引損	△ 1,123,740
(D) 当期損益金(A+B+C)	△152,069,634
(E) 前期繰越損益金	794,044,166
(F) 追加信託差損益金	85,786,661
(G) 解約差損益金	△260,214,206
(H) 計(D+E+F+G)	467,546,987
次期繰越損益金(H)	467,546,987

(注) (B) 有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

[お知らせ]

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。
(2025年4月1日)